

千年の仏に仕へ堂涼し
潔く仮説を捨つる涼しさよ
祖母に聞く昔話の涼しさよ
ばつさりと切つて涼しき自選集
つかまつてある日涼しく立ち上がる
涼しさや紅一点の蚊遣香
庭を掃くことも修行や僧涼し
青といふ涼しき色に煮炊の火
涼しさに住んでもみたき土星の輪
濃き色を薄く伸ばして涼しさよ
大陸と海を隔てて涼しけれ
井は涼しと猫の子が眠る
天龍の川となりたる涼しさよ
いまはただ遠く涼しくベンチャーズ
涼しさは水尾か水輪かさざ波か
三十度切つて涼しと思ふ日も
一枱を一字で埋める涼しさよ
涼しさと寝るは極楽一丁目
積み上げし積木涼しく崩れたり
歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し

千年の仏に仕へ堂涼しまた一つ仮説を捨つる涼しさよ
祖母に聞く昔話の涼しさよばつさりと切つて涼しき自選集
つかまつて或る日涼しく立ち上がる涼しさや紅一点の蚊遣香
庭を掃くことも修行や僧涼し青といふ涼しき色に煮炊の火
涼しさに住んでもみたき土星の輪濃き色を薄く伸ばして涼しさよ
大陸と海を隔てし国涼し井は涼しと猫の子が眠る
天龍の川となりたる涼しさよいまはただ遠く涼しくベンチャーズ
涼しきは水尾か水輪か漣か三十度切つて涼しと思ふ日も
一枱を一字で埋める涼しさよ涼しさと寝るは極楽一丁目
積み上げし積木涼しく崩れたり歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し

千年の仏に仕へ堂涼し大粒の人造ダイヤ涼しけれ
庭を掃くことも修行や僧涼し一枰を一字で埋める涼しさよ
祖母に聞く昔話の涼しさよまた一つ仮説を捨つる涼しさよ
つかまつて或る日涼しく立ち上がるばつさりと切つて涼しき自選集
涼しさに住んでもみたき土星の輪青といふ涼しき色に煮炊の火
大陸と海を隔てし国涼し濃き色を薄く伸ばして涼しさよ
天龍の川となりたる涼しさよ井は涼しと猫の子が眠る
涼しきは水尾か水輪か漣かいまはただ遠く涼しくベンチヤーズ
ぎつぎつと水切る筈の涼しけれ三十度切つて涼しと思ふ日も
積み上げし積木涼しく崩れたり歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し

涼しさに住んでもみたき土星の輪 ばつさりと切つて涼しき髪、句集
大空に大音声の涼しきよ また一つ仮説を捨つる涼しきよ
大陸と海を隔てし国涼し 大粒の人造ダイヤ涼しけれ
天龍の川となりたる涼しきよ 青といふ涼しき色に煮炊の火
涼しきは水尾か水輪か漣か 濃き色を薄く伸ばして涼しけれ
ざつざつと水切る筈の涼しけれ いまはただ遠く涼しくベンチアーズ
井は涼しと猫の子が眠る 三十度切つて涼しと思ふ日も
積み上げし積木涼しく崩れたり 千年の仏に仕へ堂涼し
一字にて足る一、十、百、千、万涼し 歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し
かきとり帖おほきな杓の涼しきよ 庭を掃くことも修行や僧涼し

涼しさに住んでもみたき土星の輪 ばつさりと切つて涼しき髪、句集
大空に大音声の涼しきよ また一つ仮説を捨つる涼しきよ
大陸と海を隔てし国涼し 大粒の人造ダイヤ涼しけれ
天龍の川となりたる涼しきよ 青といふ涼しき色に煮炊の火
涼しきは水尾か水輪か漣か 濃き色を薄く伸ばして涼しけれ
ざつざつと水切る筈の涼しけれ いまはただ遠く涼しくベンチアーズ
井は涼しと猫の子が眠る 三十度切つて涼しと思ふ日も
積み上げし積木涼しく崩れたり 千年の仏の住まふ堂涼し
一字にて足る一、十、百、千、万涼し 歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し
かきとり帖おほきな杓の涼しきよ 庭を掃くことも修行や僧涼し

涼しさに住んでもみたき土星の輪 ばつさりと切つて涼しき髪、句集
大空に大音声の涼しきよ また一つ仮説を捨てて涼しけれ
大陸と海を隔てし国涼し 大粒の人造ダイヤ涼しけれ
天龍の川と化したる涼しきよ 青といふ涼しき色に煮炊の火
涼しきは水尾か水輪か漣か 濃き色を薄く伸ばして涼しけれ
ざつざつと水切る筈の涼しけれ いまはただ遠く涼しくベンチアーズ
井は涼しと猫の子が眠る 三十度切つて涼しと思ふ日も
積み上げし積木涼しく崩れたり 千年の仏を守る堂涼し
一字にて足る一、十、百、千、万涼し 歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し
かきとり帖おほきな杓の涼しきよ 庭を掃くことも修行や僧涼し